

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立加茂高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和4年12月5日(月) 14:00～17:00
- 3 開催場所 岐阜県立加茂高等学校同窓会館2階会議室
- 4 参加者

学 校 側	会 長	長尾 陽一郎	全日制PTA会長
	副会長	松井 彰良	ウィンズコーポレーション代表取締役
	委 員	角田 雅彦	ツノダ住工取締役
		尾関 里佳	主婦(地域代表)
		松尾 和樹	可児市議会議員 NPO法人縁塾
		武市 由紀子	元特別支援学校校長
		井藤 勝夫	校長
		大島 達史	副校長
		伊藤 強	事務部長
		小林 竜二郎	教頭
		田内 俊文	教頭
		吉川 敏幸	教務主任(全日制)
		尾関 清光	教務主任(定時制)
		酒井 宏昌	生徒指導主事(全日制)
		武藤 秀彦	生徒指導主事(定時制)
		山中 徹也	進路指導主事(全日制)
渡辺 純也	進路指導主事(定時制)		

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (1) 学校の様子についての説明

学校側より、令和4年度の各分掌における取組について説明する。

##### ○全日制

##### 教務部

- ・ 現在、ホワイトボードやタブレットを活用した授業をしている。生徒同士の話し合いの時間も設けている。
- ・ 総合的な探究の時間、理数科の課題研究を有益に行っている。今年の受験の合格者にも面接等で探究活動や課題研究の内容が役に立っている。
- ・ ここ数年、コロナの影響で様々な学校行事ができなかったが、今年度はコロナ対策や暑さ対策で実施時期を見直しながら活発に行うことができた。

##### 生徒指導部

- ・ 昨年度は不注意による遅刻が0.5人/日だったため、今年度は0.3人/日を切ることを目標にしたが、現時点で達成できていない状況。7月までは達成できていたが、夏以降に増加傾向が見られた。今後も、不注意の遅刻を減らせるよう指導していき

い。

- ・今年度、救急や警察が出動するような大きな交通事故はない。

進路指導部

- ・現時点で国公立大学が4名、私立大学も合わせて50名以上の合格者が出ている。今後は、一般選抜に向けて授業等でサポートを続けたい。

○定時制

教務部

- ・日本語のプレゼン大会に参加したり、日本語能力試験などを受験したりしている。
- ・9月以降コロナ感染者は出ていない。今後も感染対策を徹底していきたい。

生徒指導部

- ・昨年に比べて事故や事件の件数は減っている。いじめアンケートで「いじめ有」と回答があった4件について、いじめ防止基本方針に従って適切に対応したが、現時点では問題はないと判断し経過観察を続けている。

進路指導

- ・概ね就職先等は決まってきたが、新規開拓で受験をした進学先については、思い通りにいかない結果となっている。

特別活動

- ・部活動(バスケ、サッカー)で優秀な成績を修めている。遠征費が多くかかってくるのが課題になってくる。

## (2) 学校評価アンケートについて

学校側より、令和4年度の保護者・生徒による学校評価アンケートの結果・分析について説明する。

○全日制

- ・昨年度からデータのとり方を、従来の紙による方法からWebを使う方法に切り替えたところ、回収率が昨年度の約3.5倍となった。
- ・全体的に肯定的な意見が減少し、否定的な意見が増えた。これは、アンケートの回収率が上がって分母が増えたことによることも一因と考えられる。より正確な意見を反映することができるので、今後は同様のアンケート回収方法で経年比較していきたい。
- ・生徒のアンケートでAやBが65%以上を占めている項目は主に生徒指導関連によるもので、CやDが35%以上を占めているものは学習に関連するものであった。授業のやり方や習熟度など学習面の課題を解決していきたい。
- ・保護者のアンケートからは、学校運営に関するものには肯定的な意見が多く見られるが、学習指導・施設・ボランティアの項目で否定的な意見が見られる。
- ・地域探究に積極的に取り組んでいるにもかかわらず、保護者に十分に認知されておらず「不明」の回答が多い。

○定時制

- ・アンケートの回収率は、生徒70%、保護者60%くらいであった。英語やポルトガル語でのアンケートも行っている。
- ・肯定的な意見が全体を通して多く、生徒と保護者ともに本校の学校運営に対して理解を得ていると考えられる。

## (3) 地域探究活動「地域の大人と語る会」の講師との意見交流

1年生の総合的探究の時間の一環として実施した「地域の大人と語る会」の授業参観の後、地域の方々に依頼した6名の講師と学校運営委員が、意見を交流した。

学校運営委員

- ・講師の方々には、地域探究活動のために協力いただき感謝している。

- ・ 事前学習 3 時間、本日（地域の大人と語る会）、事後学習と続くなかで、「事前学習の成果を感じることができた」という生徒の意見があった。今後も継続的に活動に取り組み、2 年生になって外に出て行き学び続けて欲しい。来年度以降は、生徒の学びのために、先生方ともっと事前に打ち合わせができればよりよい実践ができると思われる。

講師 1（会社代表取締役）

- ・ 本日の講話の中で、自身が高校時代に交通事故で同級生を亡くしたことを話したら、同じ高校生という当事者意識からか、真剣に考えてくれたことが印象的であった。

講師 2（市役所職員）

- ・ 今回のような話を聞いたあとに、高校生が実際に現場でどのように生かしていくか、その後のアクションは難しいと思う。今後も地域の協力が必要であり、これが次につながる機会になればよいと思う。

講師 3（医療関係自営）

- ・ 「針灸が予防医学につながるという発見があった」という生徒の言葉が嬉しかった。針灸医院がたくさんある中で、どうやったらここに行こうと思うかアイデアを出してもらった。多くの興味深いアイデアや熱い話し合い等があり、貴重な機会となった。この経験を次に繋げ、実際に何か活動ができればよい。

講師 4（保育園理事長）

- ・ 本日の講話・ワークで「加茂高生の想像力が育っている」ことが分かった。将来何をやりたいかについて、なかなか手が挙がらず目的が見つからない生徒が多い中、今回がよい機会となり、今後も継続的に実施していければよい。かつて保育園の園長をしていたが、私から卒園証書もらった生徒が 1 人いて驚いた。

講師 5（会社社長）

- ・ 本日の講話・ワークは短時間ではあったが、事前学習を実施したりファシリテーター講座があったりしたので、深い学びができた。今後も、単発ではなく事前学習込みで継続的にやって欲しい。

講師 6（JA職員）

- ・ 意見を出し合おうとする時、仕切る生徒や意見を出す生徒がおり、校風なのか加茂高生のよい文化が残っていると感じた。
- ・ 進路選択をする生徒に情報を与えることは大切。それが地域課題であればよりよいのでは、という思いで今回参加した。単発で終わらず、継続的な取り組みとして関わっていければと思う。

校長

- ・ この時期は、直接生徒に面接指導をすることがあるが、探究活動をしっかり行った生徒は“自分の言葉で自分の考えを語る”ことができている。主体的な姿勢をもち、自分で考え、判断・表現ができる生徒は卒業後も力強い。最近では、学んでいるふり聞いているふりだけで思考していない等、学びから逃走している学生もいると言われている。そんな中、社会では“自ら課題を見つけ、皆と協力し課題解決にあたる”人材が求められており、そのような力をもった生徒を育てたい。そのために、今後も引き続き協力いただけると有難い。

#### （4）学校運営委員からの意見

意見 1

- ・ 地域の方々の意見を聞くよい機会となった。加茂高の取り組み等がしっかりと伝わっている。今の価値観においては、昔と違い「自分らしさを見つける」ことが大切である。自分らしくどう生きるか、また将来を見据え地域の方とどう接するかという観点から、今回の「地域の大人と語る会」のような取組により、地域の方々の協力がいた

だけるのは、本校にとって大変ありがたい。

#### 意見2

- ・ 「どこに就職するのか」ではなく「何をするか」を考えるとという取組は、生徒が地元に戻って地域を盛り上げていくという点で、大変よい。また、これからはプレゼン能力等も大切になってくるので、こういった取組は素晴らしい。
- ・ 学校評価アンケートの肯定的な評価が下がっていることについては、昨年までとアンケート方法や回答人数が異なっているため実際のところはわからないが、学校として心に留めて活動してほしい。

#### 意見3

- ・ 「地域の大人と語る会」を初めて参観したが、いろんなことを考えるきっかけになるので、これからも続けてほしい。社会に出ると、人間関係など授業では習わないことを学んでいくことになるが、この取組がやりたいことを見つけるきっかけになるとよい。

#### 意見4

- ・ 本校の取組は、自由度があって大変よいと感じた。加茂高生は、真面目で熱心であるだけでなく、自分の意見をはっきりと言えたり相手に鋭く質問できたり、また地域のことをよく理解していると感じた。
- ・ 学校評価アンケートについて、家庭学習3時間、部活動との両立等について、親も生徒もマイナス評価が多くみられたが、「やりなさい」だけではできない生徒も多い。家でダメなら学校でという親の期待も大きいと思われる。
- ・ 地域探究活動での事前アンケートの中で、生徒の「自分たちに足りない力」に対する回答では、「自己決定力」の多さが気になった。地域課題研究において、市のファシリテーター講座で学んだことはとても大きい。是非2月の発表（2年生の地域課題発表）も見せていただきたい。
- ・ 定時制については、学び直しがし易い環境にあり、必要とされている場である。

#### 意見5

- ・ 「地域の大人と語る会」について、学年主任を中心によく活動していただき、こちらの投げかけに対しても、迅速に対応していただいた。今回、講師の1人が急遽オンラインとなったが、その会場の先生が生徒の様子と臨場感を伝えるためにWebカメラを持ち歩き回っていただくなど、先生方の意欲と熱意を感じた。また、生徒の様子を見ていて、コミュニケーション能力の高さに驚いた。

#### 意見6

- ・ 教員の働き方改革を進めて、体調を崩さないようにお願いしたい。

## 6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、本校全日制で実施されている「地域探究活動」について、学校運営協議会委員が参観するだけでなく、活動に尽力いただいた地域の講師の方々ともに意見交流をすることができた。また、令和4年度の学校の様子を説明するとともに、学校評価アンケートの結果から様々なご意見をいただいた。